

4 温室効果ガスの排出の状況

計画期間 3 年度目（令和 6 年度）の温室効果ガス排出の状況

①エネルギー起源二酸化炭素の排出量		4,205	t-CO ₂
（温室効果ガス換算）	②非エネルギー起源二酸化炭素（③を除く。）		t-CO ₂
	③廃棄物の原燃料使用に伴う非エネルギー起源二酸化炭素		t-CO ₂
	④メタン		t-CO ₂
	⑤一酸化二窒素		t-CO ₂
	⑥ハイドロフルオロカーボン類		t-CO ₂
	⑦パーフルオロカーボン類		t-CO ₂
	⑧六ふっ化硫黄		t-CO ₂
	⑨三ふっ化窒素		t-CO ₂
	⑩エネルギー起源二酸化炭素（発電所等配分前）		t-CO ₂
	温室効果ガス総排出量（①～⑩合計）		4,205

5 温室効果ガス排出量の抑制に係る目標の達成状況

(1) 温室効果ガス排出量の抑制目標の達成状況

温室効果ガスの抑制の目標設定方法	総排出量及び原単位排出量
------------------	--------------

項目	基準年度の実績		目標		計画期間の実績					
	令和 3 年度		令和 6 年度		令和 4 年度		令和 5 年度		令和 6 年度	
温室効果ガス総排出量	5,086	t-CO ₂	4,934	t-CO ₂	4,929	t-CO ₂	4,337	t-CO ₂	4,205	t-CO ₂
削減率（対基準年度）			3.0	%	3.1	%	14.7	%	17.3	%
温室効果ガスみなし総排出量						t-CO ₂		t-CO ₂		t-CO ₂
削減率（対基準年度）						%		%		%

項目	基準年度の実績		目標		計画期間の実績					
	令和 3 年度		令和 6 年度		令和 4 年度		令和 5 年度		令和 6 年度	
原単位あたりの排出量	0.08022	/ m ²	0.07781	/ m ²	0.07774	/ m ²	0.06841	/ m ²	0.06633	/ m ²
削減率（対基準年度）			3.0	%	3.1	%	14.7	%	17.3	%
原単位あたりのみなし排出量						/ m ²		/ m ²		/ m ²
削減率（対基準年度）						%		%		%

(2) 進捗状況に対する自己評価（目標の達成／非達成の理由）

本館冷専型ターボ冷凍機の更新を2022年5月までに実施し、継続的な設備更新を踏ること等によって、エネルギー消費の改善を大幅に図ることができた。

備考1 温室効果ガスの排出の状況のうち、エネルギー起源二酸化炭素を除く温室効果ガスの排出量については、温室効果ガスの種類ごとに3,000トン以上の場合に限り計上してください。
 備考2 温室効果ガス総排出量とは、エネルギー起源二酸化炭素の排出量と、種類ごとに3,000トン以上の温室効果ガスの排出量の合算をいいます。
 備考3 原単位あたりの排出量とは、事業活動の特性を的確に示すものとして事業者自らが選択する工場等の床面積、製品の出荷量その他の指標になる単位量あたりの温室効果ガス排出量をいいます。
 備考4 温室効果ガスみなし総排出量とは、温室効果ガス総排出量に対し、クレジット等の環境価値に相当するもの及び再生可能エネルギー等の利用による温室効果ガスの削減量等を調整したものをいいます。

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置の実施状況

(1) 自らの事業活動に伴い排出される温室効果ガスの抑制に係る措置の実施状況

取組の区分	具体的な取組の内容	取組の目標	取組の実施状況
省エネルギー・省資源の推進 【冷暖房】 空調負荷の低減・設備運転の効率化	<ul style="list-style-type: none"> ■TPO（時間・場所・場合）および業務内容に応じた私服の推奨 ■設備の運転時間、温度の管理 <ul style="list-style-type: none"> ・夏季28度、冬季19度の設定 ・中間期（夏季・冬季）の運用 ■ブラインド、緑のカーテンの実施 	削減目標（年▲1%）達成に向けた着実な取組の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・左記内容の実施 ・中間期（夏季・冬季）の運用効率化策の実施
省エネルギー・省資源の推進 【照明】	<ul style="list-style-type: none"> ■昼休みのほか支障の無い場所・時間の消灯 ■支障のない場所の照明間引き ■執務室レイアウト変更と同調したLED化 	同上	<ul style="list-style-type: none"> ・左記内容の実施 ・執務室のレイアウト変更と同調した照明のLED化
省エネルギー・省資源の推進 【OA機器等その他】	<ul style="list-style-type: none"> ■エレベーターの稼働台数、階数制御 ■OA機器の不使用时间のスイッチオフの徹底 ■自動販売機内部照明の消灯 	同上	<ul style="list-style-type: none"> ・左記内容の実施
省エネルギー・省資源の推進 【冷暖房設備更新】 省エネ空調設備への更新	<ul style="list-style-type: none"> ■本館冷専型ターボ冷凍機、本館空冷ヒートポンプチャラー等の設備更新 ※2022年2月から5月の間、順次運用開始	同上	<ul style="list-style-type: none"> ・左記内容の実施

(2) 再生可能エネルギー及び未利用エネルギーの利用の状況

ア 計画期間 3 年度目 (令和 6 年度) における利用の状況

導入年度	設備等の種類	概要 (規模、性能、発生エネルギー量等)

イ 上記のうち、他のものに供給した電力及び熱

区分	再生可能エネルギーの種類	温室効果ガス換算量 (みなしの削減量)
電力		t-CO ₂
熱		t-CO ₂

(3) 環境価値 (クレジット等) の活用の状況

計画期間 3 年度目 (令和 6 年度) におけるクレジット等の利用

クレジット等の種類	創出地	温室効果ガス換算量 (みなしの削減量)
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂

(4) みなしの排出量の算定に利用した温室効果ガス換算量 (みなしの削減量) の合計

t-CO ₂

(5) その他の地球温暖化対策に係る措置の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> ・従業員に対する環境教育の実施※ ※E C Oポイント活動への積極的に参加できる機会提供を含む ・夏季・冬季を迎えるにあたり、節電対策に関する依頼文書を全社へ発信。 「事業場における節電のポイント」を示すとともに、「省エネ・節電マニュアル」の活用を奨励。 ・事務用品のリユース等廃棄物排出抑制の実施
--

(6) 「環境保全の日」等に特に推進すべき取組の実施状況

--